

**「生活作文の書き方教室」掲載作文使用条件**

① 「生活作文の書き方教室」（以下「本サイト」）掲載作文の著作権は放棄しておりません。使用条件に同意した場合にのみ使用できます。

② 本サイトの作文は、学校（小学校および中学校）提出に限りその使用を認めます。

③ 本サイトの作文を使用し、何らかの問題が発生しても、本サイトおよび管理人は一切の責任を負わないものとし、すべて使用者の自己責任で対応するものとします。

④ 本サイトおよび作文に関しては、苦情とうは一切受け付けません。

⑤ 何かしらの問題が発生する可能性がある場合、判断した場合、使用は中止してください。

⑥ 本サイトの作文を他サイトへ転載することは厳禁です。

⑦ 本サイト掲載作文への直リンクは厳禁です。

以上

真夏の草むしり

五年二組



「庭の草を全部むしりなさい！」と、お母さんがに言われました。夏休みに入ってから朝寝坊ばかりしてしていました。その罰として、草むしりを命令されましたのです。

規則正しい生活をしなかったわたしにも責任はあります。しかし「最高気温が三十五度を超える日に草むしりを命令しなくてもいいのに」、わたしはそう思いました。「熱中症で倒れたらどうしてくれるんだ」「お母さんがきちんと庭の手入れをしなければ、草なんか生えていないのに。この手抜き主婦！」と、声に出すと大変なので、心の中で八つ当たりをしました。草むしりを始めてまもなく、おでこの汗がほおを流れました。汗でTシャツの色が変わり始めました。暑い日でした。

草むしりも半分くらい終わったころでしようか、気がついたことがあります。「草とか雑草とかいつも言っているけど、いろいろ

な種類があるんだな」ということです。背の高い草もあります。背は低いけれど、横に伸びる草もあります。花を咲かしている草もあります。茎の太い草もあれば、細い草もあります。葉っぱの形もいろいろです。太い根もあるし、細い根もあります。新しい発見をしたような気持ちになりました。抜いた草を一本一本並べ、見比べてみました。でも夏の日差しのせいか、草はすぐにしおれ始めました。草むしりも終わろうかというとき、「休憩しなさい」と、お母さんが氷の入ったカルピスを持ってきました。「もう少し早く持ってきてくれればいいのに。草むしりはもう終わりだよ」と言いかけてましたがやめました。ここで反抗をしたら、何を言いつけられるか分かりません。触らぬ神にたたりなしです。「きれいになったわね」とだけ言うと、母は家の中に消えていきました。

草むしりを終わると、部屋に戻りました。

「確か小学校に入学したときに、おじさんに

買ってもらった植物図鑑があるはず」と、本  
 棚を探しました。本棚の隅の方にその図鑑が  
 ありました。「図鑑を開くのも久しぶり」、  
 そう思つて、庭で抜いた草を調べてみました。  
 「背の高い草は●●つていう名前なんだ」  
 「花を咲かせていた草の名前は●●というん  
 だ」「横に伸びていた草は：：」。いつも雑  
 草と言つていた草にも名前があると思うと、  
 不思議な気持ちになりました。  
 学校でも家でも何回も草むしりをしたこと  
 があります。でも、その草一つ一つに名前が  
 あるなんて、考えもしませんでした。全部ま  
 とめて「雑草」でした。草を抜けば庭がきれ  
 いになるとしか考えていませんでした。  
 でも、一つ一つの草を調べてみると、鳥の  
 えさになる草もあります。花粉症の原因にな  
 る草もあります。草にだっているいろいろな役割  
 があると分かります。「ちよつと調べてみよ  
 う」で、思いもしなかったことが知識になる  
 と分かった一日でした。